2025年2月3日

各　位

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社

2025年　1月度　売上速報

■ 百貨店事業

阪急阪神百貨店	売上高前年比(%)
阪急本店	112.3
阪神梅田本店	90.8
支店計	101.3
全店計	106.1

※2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、月次の売上速報および営業概況につきましては、当該基準等適用前の取扱高で開示しております。

○ 全店の概況

- 本年は、阪急・阪神両本店をはじめ15店舗中11店舗にて年始の休業日を1日増加。
- 中旬にかけて最高気温が10度を下回る日も多く、重衣料を中心に冬物ﾌｧｯｼｮﾝが引き続き好調に推移し、前年の売上高を上回った。特に阪急本店、博多阪急（前年同営業日数）の売上高は前年に対し約1割増と全体を牽引。
- 阪神梅田本店は、改装に伴う売場の閉鎖影響や大型催事の開催月の変更、年始休業日の1日増加などにより前年の売上高を下回った。なお、催事を除いた店頭売上高は前年比100%と堅調。
- 免税売上高は、前年に対して約4割増、阪急本店は約5割増と引き続き好調で、同月の売上高では20ヶ月連続で過去最高を更新。

○ 阪急本店の概況

- 13ヶ月連続で、同月の売上高において過去最高を更新。
- 3日の初売り初日は、開店前に多くのお客様が並ばれたため予定より30分早めて開店。ｲﾝﾊﾞｳﾝﾄﾞのお客様も含め多くのお客様にご来店いただき、3日・4日の累計来店客数は前年2日・3日計に対して約1割増、売上高は約2割増と好調な初売りとなった。
- ﾓｰﾄﾞ・ｲﾝﾀｰﾅｼｮﾅﾙﾌｧｯｼｮﾝ、ﾊﾞｯｸﾞなど婦人ﾌｧｯｼｮﾝ全般が好調で、売上高の前年対比は2ｹﾀの伸びを示した。冬のｸﾘｱﾗﾝｽが3日からｽﾀｰﾄしたが、ｾｰﾙよりも定価商材の売上高が大きく伸長しており、ｲﾝﾊﾞｳﾝﾄﾞの売上も押し上げとなった。中でも、ﾌﾞﾗｲﾀﾞﾙﾆｰｽﾞが引き続き好調なｱｸｾｻﾘｰの売上高は前年に対し約2割増と高伸。また、宝飾品の売上高も前年に対して約4割増と大きな伸びを示した。
- 100万円以上の高額品の売上高は、前年の約4割増と引き続き高い水準で推移。

※過去1年間の売上高推移

前年比(%)

	2023年度			2024年度									
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
阪急本店	120.2	132.0	130.0	129.6	146.1	137.7	120.3	115.5	113.1	108.1	113.8	113.5	112.3
阪神梅田本店	117.6	119.1	107.0	105.8	108.8	109.2	105.3	109.5	81.5	106.9	79.2	109.4	90.8
支店計	110.0	115.5	111.4	110.4	112.0	116.7	107.5	105.3	105.1	100.5	103.8	101.7	101.3
全店計	116.0	124.5	119.9	119.9	129.1	127.1	114.1	111.1	105.8	105.2	105.8	108.7	106.1

■ 食品事業

イズミヤ・阪急オアシス	売上高前年比(%)
全店計	101.5

関西スーパーマーケット	売上高前年比(%)
全店計	101.7

★数値は速報値のため、確報値とは誤差が生じることがあります。

＜本件に関するお問い合わせ先＞
エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社　メディアリレーション部　TEL:06-6367-3181